

我等は同君の永い間の半獄生活を慰められた健康の恢復を願うべく左記の委員を擧げて「石塚幸次郎君歓迎委員会」を構成し全國に飛徹して歓迎基金の募集等をなし歓迎に萬全を期した。即ち出所當日、當、三上、笠原の三代表は甲府刑務所まで出迎ひ各支部は約三百名新宿驛に出迎ひ多加良俱樂部に會集し盛大なる歓迎茶話會を開催した。

全國の同志によつて集まつた歓迎基金は一金貳百八拾壹圓四拾八錢の多額に達し、充分保養をなさしめ得た。尙出所と同時に本部常任執行委員に推薦した。

歡迎委員

委員長赤松克麿、委員當、清、高地俱喜、菊地喜一、森本耕、山崎勝司、松澤安太郎、齊藤芳朗、齊藤勇吉、安川省三、屋宮朝一、春日井秀雄、蛭原貞榮、松本喜一郎、笠原傳作、戸島豊治、岡山千之助、福壽清二。

共済組合法人化促進
全官業労働組合協議會

現行各官業共済組合を法人とし組合資産の責任の歸趨を明かにすると共に組合員に事業運行の參與權を與へよと大正十四年以來、逕友同志會、海軍労働組合聯盟、官業労働總同盟、日本縫工組合、全日本鐵道従業員組合等が聯合して其の實現の爲めに努力し、或は請願に、議會質問に、關係各省訪問等々の手段を以て運動し來つたのである、我が逕友同志會の一昨年度大會決議に依る逕信省への要求事項中該案件に對する回答は

「本件は當省限りの問題にあらず官業共済組合全般に關係する事項なるが故に各省共済組合に於いて聯合審議中なり各省共済組合それ々々特徴を有し其の特徴を失ふ事なきを期する爲め相當期間を要すべし」

であつた。我等は一層各友誼組合と協力して其の實現を期さねばならぬのである、偶々海聯本部の幹部諸君が同聯盟昨年度大會

の決議に基いて上京せるを機会に十二月六日午後一時より新橋館に於て、海聯、林主事、大澤、加藤、野副、高谷、森光、眞鍋、渡邊の各中央委員、官勞、川村主事、渡邊、大塚兩中央委員、逕友、高地執行委員出席して協議會を開催し一、共済組合法人化促進運動の件、十二月七日(月曜)午前十時法制局を訪問し、事情を調査し具體的事項の協議をなす事二、各官業労働事情調査研究に關する件

1、官業労働調査會を設置す

目的 現業各官廳従事員の共同福利増進の爲め、關係法規、労働條件等の調査發表、以上の事業遂行の爲め委員を加盟各組合より選出し、各省主任として、海軍省林助一、陸軍省、大藏省渡邊善壽、逕信省當清、商工省澤村文作(他は追つて決定)経費は當分の間毎月五圓とし海聯二圓、官勞二圓、逕友一圓の割合を以つて負擔し、事務は渡邊善壽君、事務所は小石川表町六九に置く

以上を協議決定して當日の協議會を終り、翌七日前記各組合代表は法制局に金森參事を訪問した。其の結果前記逕友同志會が受けたる回答とほぼ同一の事情に置かれて居る事が認められた。

附録

逕友同志會發展經過

△創立大會

△年月日 大正十四年九月三十日

△場所 東京市麹町區半藏門俱樂部

參加 二十五名

議長 石井米吉

役員 會長鈴木文治